

カレンデュラ



別名	キンセンカ、ポット・マリーゴールド
植物分類	キク科カレンデュラ属
園芸分類	秋まき1年草
原産地	地中海沿岸
花言葉	あふれる慈愛、さびしさに耐える

カレンデュラは地中海沿岸地域を原産とし、品種も多く、草丈や花の大きさ、花弁数もさまざま、黄やオレンジ色の暖色系の花が長期間咲き続けます。性質が強く育てやすいことから、花壇やコンテナに広く利用され、冬の彩りとして重宝されています。

また、薬用や料理の着色料としても利用され、ポット・マリーゴールドの名前でも呼ばれています。

栽培特性・管理のポイント

< 定植 >

日当たり、水はけのよい土を好み、寒さに強く強健です。冬の間も少しずつ花を咲かせています。

春には株も充実し、初夏（6月頃）まで咲き続け、清純な美しさがあって、現在では春花壇に欠かせない存在です。

< 管理 >

過湿に弱く、水をやりすぎると根腐れをおこします。ある程度の乾燥にも耐えるので、水遣りは回数を控えめに、土の表面が乾いてきたら午前中にたっぷりと与えます。

肥料はひかえめにする方が葉が茂りすぎなくてよいでしょう。

最初の追肥は植えてからひと月後に、その後は、ふた月に一度、ゆっくり効くタイプの化成肥料を施します。

また、暖かくなってくるとアブラムシがつきやすくなるので注意。発生初期、株元にオルトラン粒剤を施すとよいでしょう。

長期間花を楽しむためには、花がらはこまめに摘み取りましょう。ひと通り花が咲き終わったら、花茎の半分くらいに切り戻しをするとワキから茎が伸び、再び花を咲かせます。

またこぼれ種でも殖え、翌年はあちこちに自然の花壇ができます。